

部長会議 報告書

令和2年1月6日(月)

3階第2会議室 9:30~10:30

1. 市長・副市長訓示

(市長)

- ・年末に、A I を使って歌唱するというテレビ番組を目にし、技術の進歩に非常に衝撃を受けた。常々、「全員参加型の市政」と申し上げているが、これからは、ここに人だけではなく“技術”も加わっていくと感じている。また、自治会から地域で街路樹を管理したいとの新たな提案もいただいております、今後は、I C Tの活用や地域との協働も含めた全員参加型で様々な取り組みを進めていただきたい。
- ・4月からは桑名市総合計画の後期基本計画がスタートする。引き続き、本市の将来像の実現に向け、7つのビジョン、11の重点プロジェクトの事業進捗に努めていただきたい。
- ・本年は、桑名駅周辺整備について、桑名駅自由通路及び橋上駅舎が、今年8月末頃に供用開始できる見通しである。民間事業者から事業提案をいただく手続きを進めているが、本市の新しい玄関口が大きく変化する年であり、駅周辺の賑わい・交流づくりに向けた取り組みをしっかりと進めていただきたい。
- ・昨年は記録的な大雨に見舞われ、深刻な被害が多数発生した。大規模災害は、今後、いつ発生してもおかしくない。(仮称)星見ヶ丘防災拠点施設、長島地区では津波避難施設の整備を進める。職員が一丸となり、市民の命を守ることに取り組んでいただきたい。
- ・合併前から計画されていた桑名市健康増進施設が、今年の秋に多度地区に完成する。市民の皆さんが「健康寿命」を伸ばし、元気に暮らせるまちづくりを目指していただきたい。
- ・今年、住民情報系システムが再構築され、新システムを導入する。円滑に導入が進むよう、関係課は十分に事前準備を行ってほしい。見直しに伴い、事務手続きのミスが生じないように、2重3重のチェックを行っていただきたい。
- ・人口減少・少子高齢化社会において、市役所内部においても職員が減っていくということについて対応を考えていかなければならない。その為に、柔軟な組織体制とし、任期付職員によるフレキシブルな対応や、事務的なことは機械や外部委託等に任せて、公務員として本来すべき調整業務にあたっていただきたい。
- ・業務の遂行にあたっては、関係部署でコンタクトをしっかりと取り、全庁一丸となって、ワンチームで取り組んでいただきたい。
- ・良い仕事を行うためには、自分の心と体の健康づくりが第一であり、日頃から公私において上手に切り替えを行い、ワーク・ライフ・バランスを保ちながら、業務にあたっていただきたい。

(水谷副市長)

- 本年は、桑名駅周辺をはじめ、様々な新しい取組みが始まっていく年であり、各所管において準備を着々と進められていると思う。5年10年といった先を見据えたうえで、2年3年といった目先の準備もしっかりと進めていただきたい。
- 持続可能なまちづくりの視点としてSDGsの考え方を取り上げると、SDGsの目指す目標の幅が広く、いったい何から取り組むことができるのかと考えがちだが、例えば食品ロスを無くすため完食することを心掛けるなど、まずは自分自身の身近なところから、何をすればよいか考えていくことが必要ではないか。

(平野副市長)

- KPI、目標を設定すること。経済界では毎年の実績が重視されるが、行政の取組みの成果は分かり難いとの声を聞く。数値目標を立て、その実現に向け職員が一丸となって頑張っていたきたい。
- 発信力を高めること。発信することで、批判を受けることもあるかもしれないが、いい取り組みは、しっかりとPRしていくべきである。

※その後、各特別職、部長から新年の抱負が述べられた。